エレベーター保守点検業務委託仕様書

1　履行場所　　三重県桑名市大字星川２２３９番地１
（１）多世代共生施設らいむの丘
（２）ヴィレッジセンター

3　期　　間　　令和４年７月１日から令和５年３月３１日まで

4　対象設備　　（１）多世代共生施設らいむの丘
フジテック製エレベーター　２基
（２）ヴィレッジセンター
フジテック製エレベーター　１基

5　目　　的　　（１）昇降機装置の安全を確保し、機能の維持を図ること。
（２）不時の故障、不具合等が発生した場合に修理、復旧等の適切な処置が速やかに行えるようにすること。

6　内　　容　　（１）定期点検
昇降機装置全般を点検し、必要に応じ清掃、給油、及び簡単な調整を行い、性能を維持する。
（２）細密検査
機械装置の細部を調査し、予防保全的措置をとる。
（３）定期整備
定期点検、細密検査の結果により、機器の性能維持に必要と判断した場合は、直ちに修理または部品の取替を行う。
（４）故障時の対応
不時の故障により連絡を受けた場合は、技術員を派遣し適切な処置を行う。

7　点検回数　　定期点検　月１回（年１２回）
ただし、遠隔監視及び毎日１回の自動点検が可能な場合は、現地点検を３ヶ月に１回とする。

8　一般的事項　　（１）受託者は、委託者と緊密な連絡のもとに、受託者の責任において業務を履行すること。
（２）業務を行う場合は、事前に委託者に連絡の上、これを行うものとする。
（３）業務遂行中に異常を発見したとき又は保安上危険と判断される事実を発見したときは、直ちに委託者に報告するものとする。
（４）業務完了後は、その都度報告書を提出し、委託者の確認検査を受けなければならない。
（５）定期点検整備に通常必要な工具、機材、雑材消耗品等は受託者が負担するものとする。ただし、仮設足場、仮設材等通常

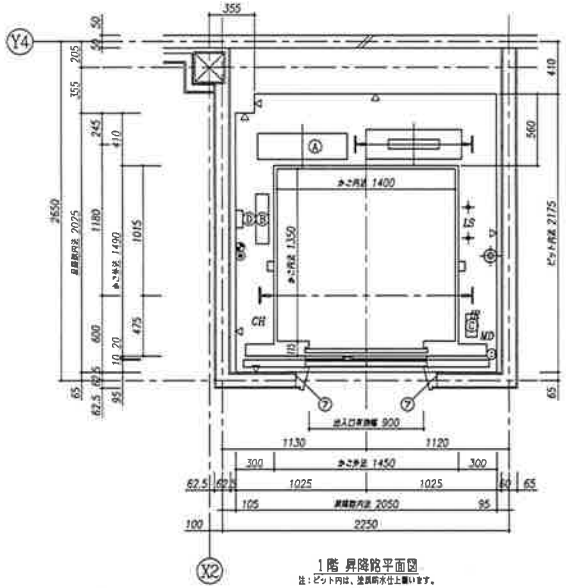
使用しない機材が特に必要な場合は、委託者と協議するものとする。

（６）定期点検整備の際に実施できる軽微な部品交換又は軽微な修理については、受託者は委託者の指示に従い、点検作業に支障のない範囲で実施するものとする。

9　特記事項　　不時の故障発生の場合、受託者は委託者の連絡により速やかに技術員を派遣し修理復旧に対処すること。その場合の費用については、点検及び調整等の軽微な保守により復旧できるものについては契約金額に含まれるものとし、部品の交換その他の修理工事が必要なものについては別途協議するものとする。ただし、受託者の責に帰すべきものについては、受託者の責任において復旧修理するものとする。

10　その他　　この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書に疑義を生じたときは、委託者と協議の上、定めるものとする。

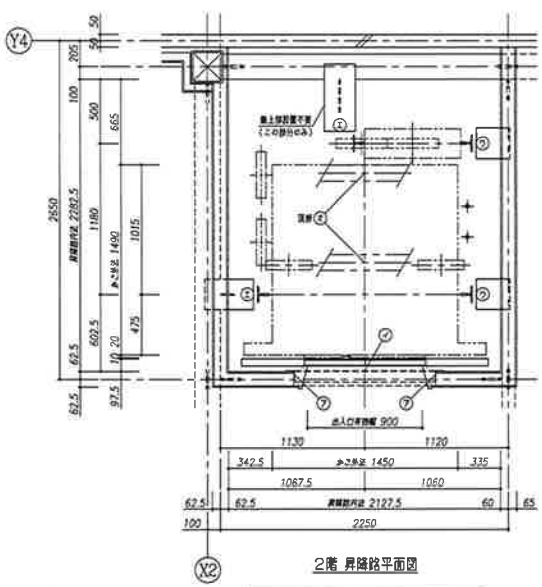
以上



1階 昇降路平面図

注：ピット内は、建築所外仕上墨いります。
△：断水仕上墨を示す。
注：EV開閉設定のためにピット内に排水端は
1FL仕上まで施工願います。

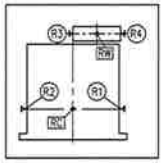
A	巻上機	(EVI工事)
B	制御盤	
C	受電盤・ピットケーブル	
D	地震感知器	



2階 昇降路平面図

注：昇降路頂部に 20kN吊ビーム設置願います
スラブ面と吊ビームとの間には 50の隙間確保願います

電源設置（1台当たり）【電気工事】							
記号	種別	線種等				仕上り高さ	埋込高さ
	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz				EVIFL	mm
		幹線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8	-100	3500
		幹線こう長（m）	45	70	100		
		電気室ブレーカ（A）	30				
		接地線（mm²）	2				
		電源設備容量（kVA）	3				
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz					
		照明用電源容量（kVA）	1.0				
	クーラー用電源	1φ 2W AC 200V 60Hz					
		クーラー用電源容量（kVA）	2.0				
	ピットコンセント	AC100V 10A 1個				-200	
	電話線埋設配管	別途打合せによる				-100	5000
	防電用配線					-100	9500



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
19	20	35	15

ピット床面積力（kN）：短期荷重

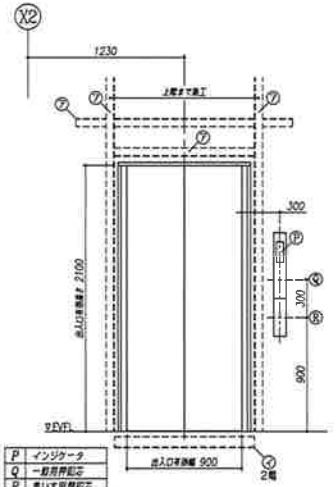
RC	RW
71	61

レールに作用する荷重値（kN）

Py		Px	Py
Px	かご	5.1	3.5
	おもり	7.3	3.7

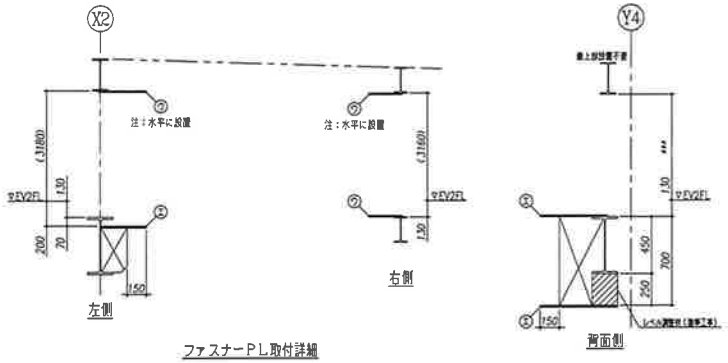
短期荷重による建築部材のたわみは
5mm以下としてください

高調波対策
高周波雑音電波と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ金属管でも下記対策をお願いします。
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は非開閉1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の漏洩電流として設定下さい。
2. 昇降路と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 昇降路の動力線と電電機器の電線・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 昇降路の電源トランスと電電機器の電源トランスを分離して下さい。
5. 昇降路のアース線と電電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。（接地極は同一で良いです。）
6. 昇降路の鉄筋内部の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



P	インジケータ
Q	一般用押釦
R	車いす用押釦

1・2階 出入口正面図



ファスナーPL取付詳細

基本仕様

自家電源出力運転
戸開き不能時自己運転
乗り合かご検出（音報ブザー及び室内室内）
地震時管制と運転（各停運転）
昇降機設置設計・施工指針（2016年版）対応
戸開走行防護装置（平成20年国土交通省告示第毛号対応）
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載）/シャープ（株）商標）
耐震ナウス（ A14 ）

エコロジー機能

かご天井 LED照明（液晶インジケータのバックライトもLED化）
シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
かご照明の自動切と

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制後の自動診断・復帰自動運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔型点検出対応
24時間リモート点検
故障時がい者仕様：応答確認表示（仕様が用意された場合、契約に関わらず有効）
情報モニター：コンテンツの配信及び表示（モニター本体の有無は仕様による）

車いす仕様

操作	車いす専用操作ボタン
かご内装	車いす専用かご主要操作盤（インジケータ：液晶表示）
	表面ミラー
	手すり
セーフティ機能	戸開自動再開の延長
	戸開延長の低減
	自動着床確認装置
	光電式多光軸ドアセンサー

エレベータ用鉄骨部材（建築工事）

ア	乗場機器取付用部材	L-65x65x6
イ	敷居取付用部材	L-90x90x7
ウ	ファスナープレート	PL-12t
エ	ファスナープレート	PL-12t(リブPL-9t)
オ	20kN 吊りビーム	H-125x125x6.5x9

仕様一覧

名称		--
所属		乗用（車いす仕様）
機種		XIOR（エクシオール/高速度レス）XIO2
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		乗合全自動方式
積載		750 kg 11 名
速度		45 m/min
動力用電源		三相交流 200 V 60 Hz
照明用電源		単相 100 V 60 Hz
クーラー用電源		単相 200 V 60 Hz
最大電動機		3.5 kW
停止階及び数		(正面) 1,2 階 2 箇所
		(背面) -- 階 -- 箇所
かご内法		(幅D) 1400 mm (幅W) 1350 mm (高さ) 2250 mm
出入口寸法		(幅D) 900 mm (高さ) 2100 mm
戸の方式		2方 高速(電動式)
おもり		50 %バランス
荷重条件	第1	250 kg以下
制御運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転周期付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	浸水時管制運転	●
	自家発時管制運転	—
	緊急地震速報運転	—
	長周期地震時管制運転	—
セーフティ機能	カードアクセプトセンサー	●
	ドアニック	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	—
	ドアクインカー	—
コミュニケーションデザイン	車いす仕様	●
	音声案内装置（かご内装）	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（インターホン呼び釦）	—
	応答灯付きクライムボタン	●
	点灯お知らせ音	—
	聴覚障害 10mm	●
乗場	三方枠	全覆 大理石調板
	扉	全覆 化粧鋼板
	連動乗降ドア	—
	自動扉 第2	—
	敷居	全覆 硬質アルミ製
	乗場操作盤 表示装置	全覆 液晶表示（文字情報表示付）/押ボタン埋込
	押ボタン	全覆 35φ光感知式ボタン（タクタイルボタン）（安全機能付）
	フェースプレート	全覆 鏡面仕上
かご	天井	スタンダードタイプ
	壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
	入口柱	—
	側壁	化粧鋼板
	奥板	化粧鋼板
	扉	化粧鋼板
	幅木	アルミアルマイト仕上
	床	t=2.0 ビニールタイル
	敷居	硬質アルミ製
	換気装置	ファン（高速式）
	かご操作盤 表示装置	液晶表示/操作情報表示
	押ボタン	35φ光感知式ボタン（タクタイルボタン）（安全機能付）
	フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上
	手すり	34φ×8丸棒（鏡面ステンレスHL32φ）
	梁	無塗ステンレス鋼（高周波ビスとめ）
	ガード	—
	保護幕	—
	床マット	—
	ITVカメラ	●：メンテナンス用のみ
特記仕様		戸開延長ボタン
		かごと非常呼（ブザー）
		非常用スピーカー
	高速度	—
高調波対策	(1) 傾斜対策 【EMIフィルタ 常時リアクトル】	● 【四路分類NO.31 6パルス換算係数Ki=3.4】
	(2) オプション対策 【(1)＋DCリアクトル】	— 【四路分類NO.33 6パルス換算係数Ki=1.8】

注1 4箇所押し釦等で荷物を運び込む場合は、釦等の重量を含んで、荷重条件以下に分けて組み込みください。
注2 指定寸法図等の記載では、昇降路等の躯体図等は示しませんのでご注意下さい。

1AA00379559(20A3209)

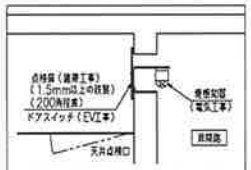
訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店 一級建築士事務所
一級建築士事務所 三重県知事登録 第 1-805 号

代表となる設計者
大和リース株式会社 三重支店
一級建築士 大田登録第335745号 田中 孝幸

構造設計一級建築士	設備設計一級建築士
法適合確認結果等	法適合確認結果等
構造関係規定に適合する事を確認した。	設備関係規定に適合する事を確認した。
確認した図面等 構造図一式、構造計算書一式	確認した図面等：設備図一式

工事名称	多世代共生型施設整備事業及び公園整備事業に係る建設等業務		受領印
図面名称	エレベータ詳細図（1）	縮尺 A1-1/20 A3-1/40	
作成年月日 2021・01・15	依頼番号 -	図面番号 A-39	年 月 日



昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、居内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。

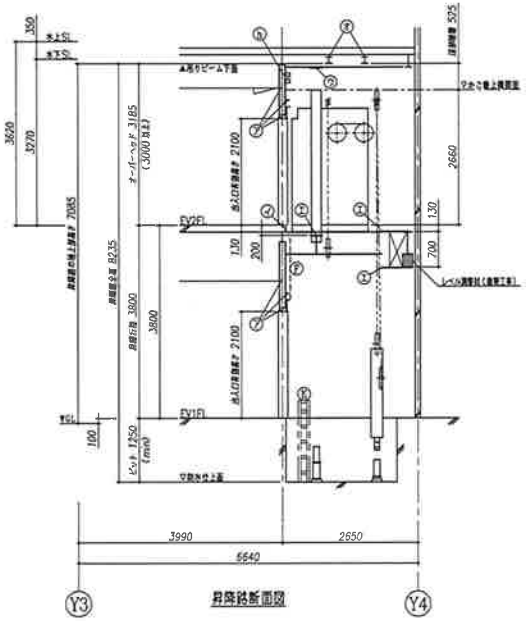
煙感知器の施工例（屋内用）

h	煙感知器	（電気工事）

G	ネフップ	（EV工事）
P	フェッシャープレート	

エレベータ用鉄骨部材（建築工事）

ア	乗場機器取付用部材	L-65x65x6
イ	敷居取付用部材	L-90x90x7
ウ	ファスナープレート	PL-12t
エ	ファスナープレート	PL-12t（リブPL-9t）
オ	20kN吊りビーム	H-125x125x6.5x9



エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、5cm²の任意の面に鉛直方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2. 各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4. 乗場敷付敷の出入口廻りの壁・床及び建築躯体部仕上工事。
5. 最上・最底階下部直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
（排水口・水勾配・庇など）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水層は 25mm 以下。
7. 昇降路頂部の荷吊り用フック（ 20 kN）設置工事。
8. 防排煙造の昇降路に設ける既発材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。
9. レール支持用（　　ファスナープレート　　）の設置工事。
10. 敷居受け設置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン・非常ベル。その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピット点検用コンセント設置工事。
4. 昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5. エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の運転に支障無きよう願います。また、昇降路壁にはエレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2. エレベータ受電箱における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は40℃で、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや湿だいな蒸気等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塵分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない通路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7. 据付工事所要仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

下記作業については、別途見積りとなります

夜間作業
部分営業中建屋への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
2階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
エレベータを工事用として使用する場合の修繕・清掃・養回・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
施工用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合

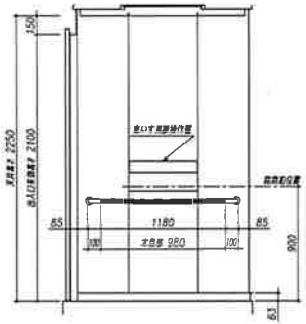
訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店　一級建築士事務所
一級建築士事務所　三重県知事登録　第 1-805 号
検査　　確認

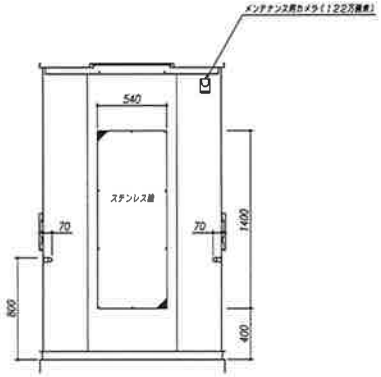
代表となる設計者
大和リース株式会社　三重支店
一級建築士　大坂登録第325745号
田中　孝幸

構造設計一級建築士	設備設計一級建築士
法適合確認結果等	法適合確認結果等
構造関係規定に適合する事を確認した。	設備関係規定に適合する事を確認した。
確認した図面等：構造図一式、構造計算書一式	確認した図面等：設備図一式

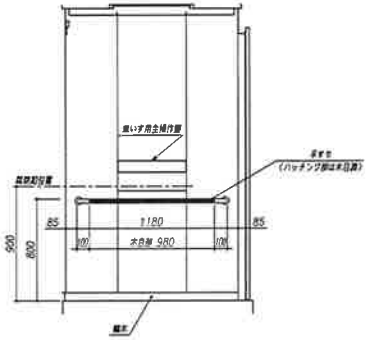
工事名称	多世代共生型施設整備事業及び公園整備事業に係る建設等業務		受領印
図面名称	エレベータ詳細図（2）	縮尺	A1-1/50 A3-1/100
作成年月日	2021・01・15	依頼番号	－
図面番号	A-40		年　月　日



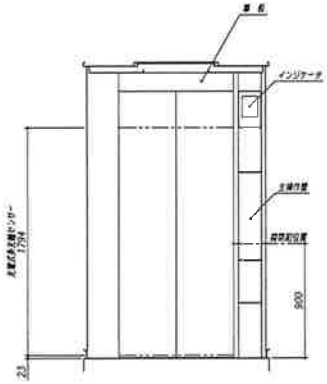
矢視 A



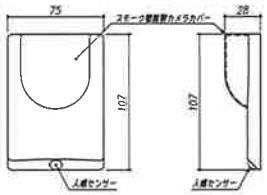
矢視 B



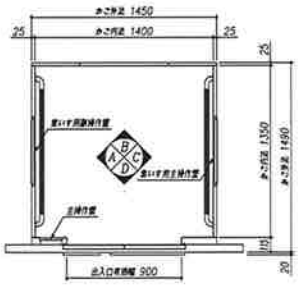
矢視 C



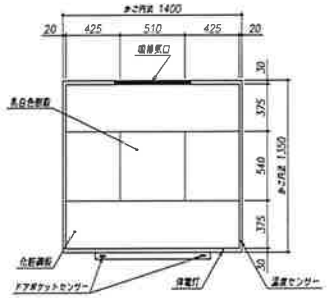
矢視 D



カメラ詳細図



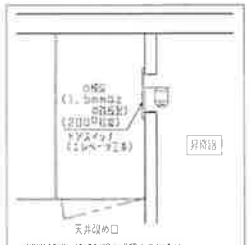
かご平面図



天井見上図

かご内室仕様	
かご内法	間口 1400 mm × 奥行 1350 mm
出入口寸法	幅 900 mm × 高さ 2100 mm
積載	積載 750 kg 定員 11 名
側壁	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
扉	化粧鋼板
天井	スタンダードタイプ(SC-01)
補強	ステンレスバイブレーション仕上
縁木	アルミアルマイト仕上
床	t=2.0 ビニールタイル
敷居	硬質アルミ製(補助敷居付)
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	クーラー(高設式・イオンフル付)
手すり	34φ木目調(縦付:32φステンレスヘアライン仕上)
鏡	ステンレス鏡面仕上(ビス止め)
付属品	放送用スピーカー
	音声案内装置
	メンテナンス用カメラ(122万画素)
	ドアポケットセンサー
	光電式ドアニック
	光電式多光軸ドアセンサー

訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社 三重支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第 1-655 号	代表となる設計者 大和リース株式会社 三重支店 一級建築士 大臣登録第305745号 田中 孝幸	構造設計一級建築士	設備設計一級建築士	工事名称 多世代共生型施設整備事業及び公園整備事業に係る建設等業務	受領印
	・・		照査 担当		法適合確認結果等	法適合確認結果等	図面名称 エレベータ詳細図(3) 縮尺 A1=1/20 A3=1/40	
	・・				構造関係規定に適合する事を確認した。	設備関係規定に適合する事を確認した。	作成年月日 2021・01・15 依頼番号 - 図面番号 A-41	年 月 日
	・・				確認した図面等 構造図一式、構造計算書一式	確認した図面等 設備図一式		



昇降路頂部に建築物を増築する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）

煙感知器の施工例（屋内）

⑲：昇降路頂部に 20kN用ビーム設置願います
スラブ底と用ビームとの間には 50の昇降路隙間います

昇降路内温度の契約
「平成12建設省告示第1413号第1号ニ」による。
下記に示された場合は、「個別上乗せ料の明示、断熱温度は空気調和設備」を設ける必要があります。
＊昇降路内温度が40℃を超える場合
（エレベータ機器の交換や昇降路からの入熱対策による）
＊エレベータ機器発熱による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量：998 （W）
エレベータ機器の発熱による温度上昇：（ 7℃以下 ＊一般値 ）

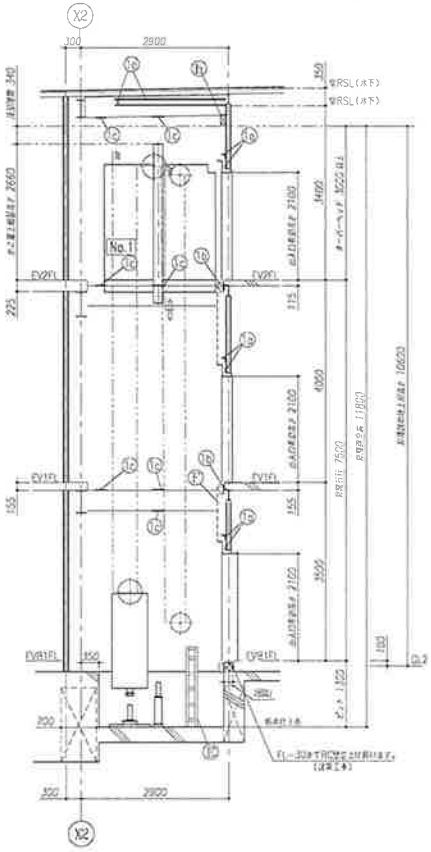
※エレベータ機器の発熱や昇降路からの入熱対策により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

h	埋設配管	（電気工事）
E	ケーブル	（EV工事）
F	ファスナープレート	（EV工事）

エレベータ用鉄骨部材（建築工事）

1a	三角形・ファスナープレート取付用鉄骨（開閉扉等取付部材）	L-75×75×6
1b	梁補強用部材	L-100×100×13
1c	ファスナープレート	PL-12t
1d	ファスナープレート	PL-12t（切リブ付き）
1e	20kN用ビーム	構造、建築一任

※）部材メンバーは、EVの有無や間隔により変更となる場合があります



昇降路断面図

基本仕様

新規電気設備
内部ボタン式行先階登録
乗りかご内蓋（手動ハンガー式かさ高蓋）
各階乗場戸上部（手動式）
乗降機能は法令・安全規約（2010年版）対応
内部表示用液晶盤（不規定の年度設計図書等に記載が明記）
マイコンレス（プラスマクラスター搭載可能／シャープ製）
戸閉センサ（ AIS ）

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

故障警報自動通報・遠隔復旧
メンテナンス時のメッセージ表示、遠隔機能用・遠隔電源切断
交代運転リモート設定
乗降時ゆっくり走行機：乗降時間延長（「故障が頻発する場合」「利用者が多い場合」）
機械モニター：コンテンツの配信及び表示（モニター本体の有無は別途による）

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリート（もしくはこれにより心毛となるはつりまたは吹付工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上、
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上、
・昇降路の壁（躯体）は、5cm²の任意の面に直角方向の荷重（300N）が作用しても15mmを超える変形及び壁面変形を生じない構造とする。
2. 各階出入口（インラケット、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4. 機械室付属の出入口扉の壁＊保護及び壁面補強付工事。
5. 床上・昇降路下部の排水気と接する箇所における防水および保温工事。
（排水口＊水勾配＊底なし）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の工事前に完了のこと）
・防水層は 25mm 以下。
7. 昇降路頂部の荷重用ビーム（ 20 kN）設置工事。
8. 機械室の昇降路に近い箇所に設ける設備用の制震補強工事及び耐火被覆工事及び耐火の被覆防止処理工事。
9. レール支持用（ ファスナープレート ）の設置工事。
10. 制震受枠設置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ安全回路への動力電源・照明電源・換気扇の引込み 配管につなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン＊非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピットの排水コンセント設置工事。
4. 昇降路頂部の共通配線配管工事。（昇降路仕様により仕様が異なる）
5. エレベータ状態表示用電話線（電話回線盤から監視ユニット設置場所設置）の敷設配線工事。

注意事項

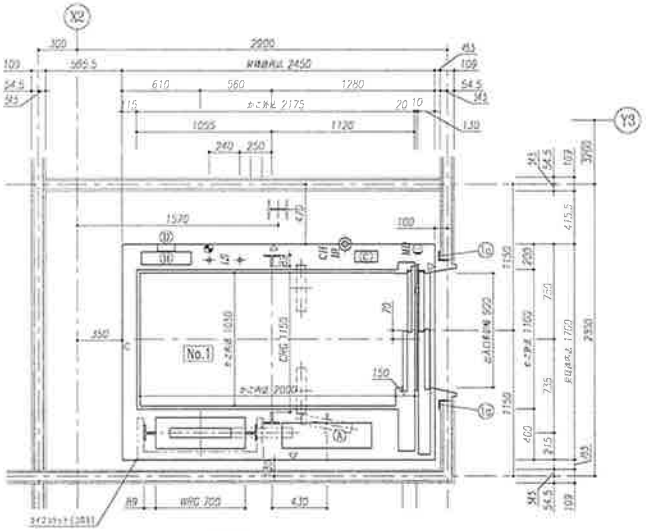
1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障きたさぬよう願います。また、昇降路壁にはエレベータ以外の電気・水道等の配管・各設備を埋め込まないで下さい。
2. エレベータ定格による乗員を左の中柱は上5%以内、乗用車はトラック以内、電圧不平衡または突起物に伴つよう電線を設置下さい。
3. 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均80%＊日平均95%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路に結露水滴や流たい液体が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は梅雨に直接さらされない。雨外の雰囲を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない対策を施工願います。（必要に応じてコンクリート孔あけ、もしくは埋戻し工事）
7. 施工工事用仮設電源、給水用電力は、セメント、水等は新規仮設願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、梱包材料の仮置場所を新設願います。

下記作業については、別途見積りとなります

夜間作業
部分仮使用建物への搬入に際し、養生板・通路養生仮設等新たに生産をする場合
2階以上の周もしくは地盤からの搬入作業
建物もしくは地盤から設置・据付予定箇所までの距離が30mを超える場合
解体工事対策を必要とする場合
エレベータ工事用として使用する場合の養生・清掃・撤去・補修・保守費用
エレベータ施工工事延期する場合や遅れが発生する場合
加工用エレベータで材料運搬を発生する必要がある場合
床・壁等に穴を必要とする場合
エレベータ工事までの出入口枠周囲の養生材料が発生材料運搬工事
その他特殊な事情がある場合

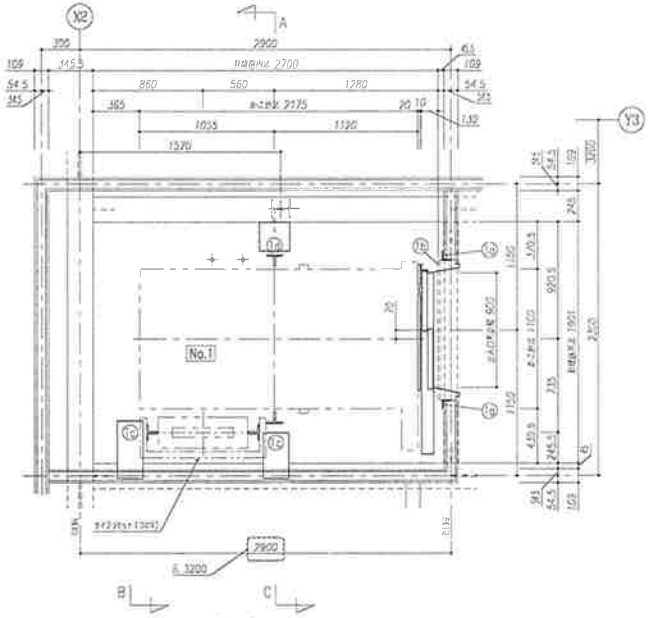
仕様一覧

名称	No.1
型式	非常用
電源	3相200V（シャッター用は単相100V）
制御方式	インバータ可変電圧可変周波数方式（全閉型モード）
駆動方式	巻上機直結式
積載	900 kg 13 人
速度	60 m/分
電動機出力	定格値 700 W 一定 Hz
扉開閉方式	定格 100 W 一定 60 Hz
戸閉方式	方式
戸閉動力源	（法令） 約1.17 秒 3 秒以内 （AIS） 秒 秒以内
かご内法	（法令） 1050 mm（W） 2000 mm（D） 2250 mm
出入口寸法	（法令） 800 mm（W） 2100 mm
戸形式	2枚 片開き自動式
制御	30 マイコン
定格速度	120 m/分
安全装置	●：（戸・ピット） メンテナンス時使用可
安全回路装置	●
戸閉安全装置	●
過負荷検出装置	●
地震時管制運転	－
第二次地震時管制	－
扉開閉監視装置	－
カートアクセスセンサー	●
ドアエンジン	●
非常呼び出し用ドアセンサー	●
ドアインターロック	－
トラフインターロック	－
乗場呼び出し	－
音声呼び出し	●：（ 音声呼び出し（通常時：消音、警報時：自動呼び出） ）
地震時管制運転（ラジオ）	－
地震時管制運転（ラジオ）	－
自動戸閉タイマ付き	●
自動戸閉センサ付き	●
戸閉時間 10mm	●
三方枠	色 ［JIS 塗装］
敷居	色 ［ ］
戸	色 ［ ］
戸閉センサ	－
戸閉方式	－
戸	色 ［ ］
表示器	色 ［ ］
戸	色 ［ ］
表示器	色 ［ ］
戸	［ ］
敷居	［ ］
戸	［ ］
敷居	［ ］
表示器



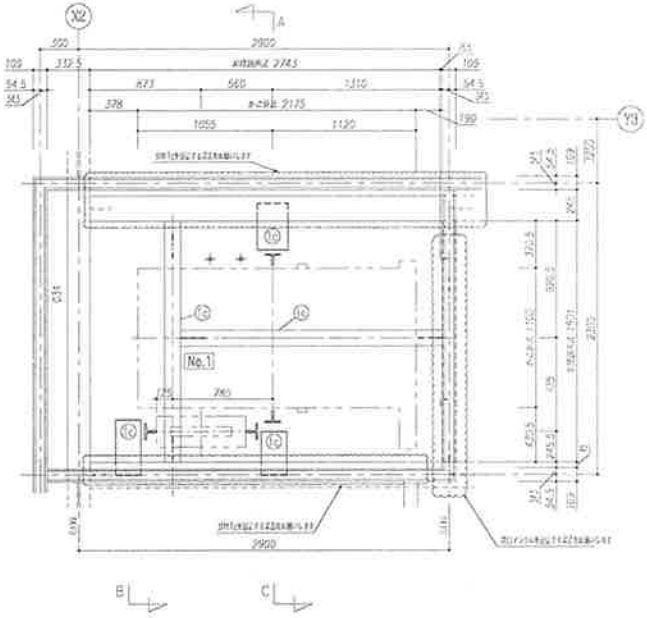
(B1F) 昇降路平面図

注：ピット内は、建築防水仕上施います。
△：防水仕上面を示す。



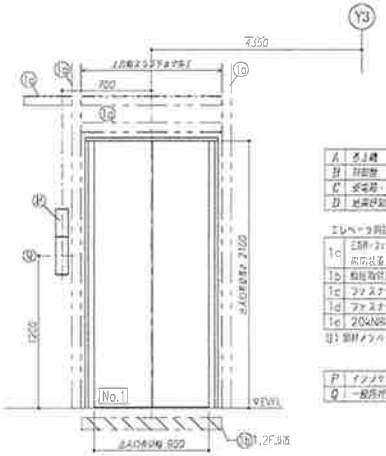
(1,2F) 昇降路平面図

注：躯体寸法参照



(塔部) 昇降路平面図

注：躯体寸法参照



出入口正面図

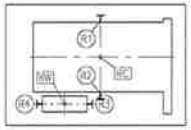
A	乗場	(EV1号)
B	昇降路	
C	機械室・ピットタップ	
D	建築躯体	

エレベーター開口補強鉄骨（建築工事）

1a	三方枠・ジャンパープレート取付用鉄骨 扉取付金具取付用鉄骨	L-75×75×6
1b	戸袋取付用鉄骨	L-100×100×13
1c	ファスナープレート	PL-12t
1d	ファスナープレート	PL-12t（9ヒリ付き）
1e	20kN梁セーム	横断面図一覧

注1：鉄骨メンバーは EVの仕様や施工により変更となる場合があります

P	インジケーター
Q	一般所定品



ピット鉛直力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
27	23	40	15

ピット床梁反力（kN）：短期荷重

RC	RW
103	95

レールに作用する荷重値（kN）

		Px	Py
Py / Px	かご	6.2	5.7
	おもり	7.4	3.8

短期荷重による建築躯体のたわみは6mm以下としてください

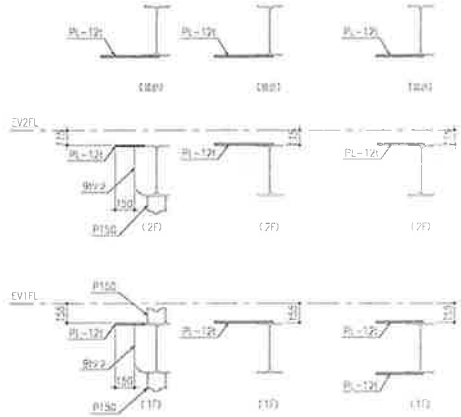
電源設備（1台当たり）【電気工事】

記号	種別	規格等	電線本数	電線断面積
⊗	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz		
		幹線サイズ（mm²） 5.5 8 14		
		幹線こう長（m） 40 57 100		
		電流ヒューズ（A） 40		
		接地線（mm²） 5.5	黄緑-100	100mm²
		電源設備容量（kVA） 5.0		
		昇降路内照明トランス容量（kVA） 0.15		
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz		
		昇降路内照明容量（kVA） 1.0		
⊗	ピットコンセント	AC100V 10A 1個	黄緑-200	
⊗	公衆電話配線	本別設計合せによる。	黄緑-100	7500mm

電源対策

各所設備電源と試験ノイズの影響を低減するため、できるだけ別系統とし下記対策を講じます。

1. 昇降路機器下を設置する場合はインバータ対応とし、
   漏電電流は対策値（合計で50mA（感度電流は100mA相当））の
   絶縁電流として設定下さい。
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の高調波障害、雑電波ノイズにも
   （インバータ対応型）を使用して下さい。
3. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
   やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
   （接地線は同一で構いません。）
6. 昇降機の昇降路や動力室の近くにラジオ通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



断面 A　断面 B　断面 C

訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店　一級建築士事務所
一級建築士事務所　三重県知事登録第1-805号

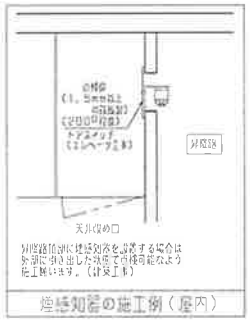
調査					担当
田中					田中

代表となる設計者
大和リース株式会社　三重支店
一級建築士　大臣登録第35746号
田中　崇博

一級建築士　大臣登録 第274644号
構造設計一級建築士 第7008号
畑田　啓吾

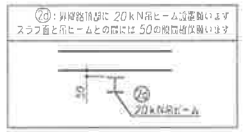
法適合確認結果欄
構造関係規定に適合する事を確認した。
確認した範囲等：構造図一式、構造計算書一式

工事名称	（仮称）多世代共生型施設新築工事		受領印
図面名称	No.1 エレベータ詳細（2）	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	年　月　日
作成年月日	2021・06・30	依頼番号 -	図面番号 A-154



昇降路頂部に建築物を設置する場合は外部に突出した状態で点検可能なように施工願います。（建築工事）

煙感知器の施工例（屋内）



㉔：昇降路頂部に 20kN用ビーム設置願います
スラブ面と示ビームとの間には 50の隙間確保願います

h	建築設置	（EV工事）
E	チャンプ	（EV工事）
F	フォッシャープレート	（EV工事）

エレベータ用開口部材（建築工事）

2a	三方枠・フェッシャープレート用(EV用)開口部補強用部材	L-75×75×6
2b	乗降口枠用部材	L-100×100×13
2c	ファスナープレート	PL-12t
2d	20kN用ビーム	構造計算一任

注）部材メーカーは、EVの仕様や階高により変更となる場合があります

消防関係法令の制約
（平成12年建設省告示第1415号・第1416号）による。
下記に示されたものの場合は、「昇降路内部の開口部、乗降口部または乗降口部」を20kN設置かあります。
・昇降路内部または乗降口部を設ける場合
（エレベータ機器の変形や昇降路内からの火災発生による）
・エレベータ機器変形等による昇降路内温度上昇が70℃を超える場合

エレベータ定格速度：77〔m/min〕

エレベータ機器変形等による温度上昇：（ 70以下 ・ 一般型 ）

※エレベータ機器の変形や昇降路内からの火災発生による、昇降路内温度が40℃を超えないこと確認願います。

基本仕様

電源電圧波形	
昇降路平面形状寸法	
乗降口形状	【乗降口サッシ・戸の形状】【開口寸法】
昇降路内部仕上げ	【仕上げ】
昇降路壁面・開口・床下寸法（2016年版）	対応
昇降路壁面・開口・床下寸法（平成20年国土交通省告示第1415号）	対応
メンフレル（プラスマックスター・ハイ仕様／シャープ（R）仕様）	
制御クラス（ A14 ）	

車いす仕様

乗場	車いす用乗場ボタン	
かご内手	車いす用操作盤（インジケータ：点字表示）	
	鏡設置	
	手すり	
ドアプロテクト機能	戸開時間延長の設定	
	戸開時間の短縮	
	戸閉途中開放装置	
	光電式安全装置ドアセンサー	

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

外部電話回線の自動接続・遠隔監視
メンテナンス用カメラによる、故障機器監視・故障原因追及対応
24時間リモート点検
緊急時かご内閉じ込め：救出隊出動（閉じ込められた場合、契約内容やられる場合） 機械室エンジンの自動運転（モニター表示の有無は仕様による）

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリート打込工法により必要となる仮つりまたは型枠工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 130mm 以上。
・昇降路の壁（部分）は、3cm²の任意の面に垂直方向の外力（300N）が作用しても1.5mmを超える変形及び変形を生じない構造とする。
2. 各乗出入口（インジケータ、利用時孔含む）の孔あけ工事。
3. 各乗場出入口枠周囲のモルタル詰め、もしくはロックウール詰め工事。
4. 乗場敷居部の出入口部下の壁・床及び建築開口部仕上工事。
5. 屋上・開放廊下等の昇降路に接する部分における防水及び排水設備工事。（排水口＝水勾配・孔など）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。（エレベータ工事の基礎工事に含まれるもの）
・防水厚は 25mm 以下。
7. 昇降路壁の補強用ビーム（ 20 kN）設置工事。
8. 建築構造の昇降路に対する耐震性の向上等昇降工事及び火災の発生防止対策工事。
9. レール支持用（ ファスナープレート ）の設置工事。
10. 梁型受け設置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ定格容量での動力電源・照明電源・電話線の引込み、配管配線つなぎ込み工事。
2. 昇降路内のインターホン・ブザー、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピット内電灯コンセント設置工事。
4. 昇降路内部の消火設備設置工事。（昇降路内部より外部が可視なら）
5. エレベータ呼び出し用電話（電話用配管から電話コンセント設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降路に必要な配管配線にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降機室にはエレベータ以外の電気・水道等の配管・各種設備を持ち込まないで下さい。
2. エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内。電圧不平衡率は3%以内に収つまり電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は40℃、湿度は相対均90%・相対均65%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや腐食性物質を入れないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は地球に直接さらされたり、風雨の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない対策を講じ願います。（必要に応じてコンクリート壁あけ、もしくは仮設工事）
7. 仮設工事用電源電力、設備用電力、水、セメント、水道は無償提供願います。
8. 工事期間におけるエレベータ使用。仮設材料の保管場所を無償で願います。

下記作業については、別途見積りとなります

電源工事
昇降路室等機械の搬入代費用、型枠・足場代及び諸設備用足場を必要とする場合
2階以上の部分しくは地盤からの搬入作業
地下ピット部分、設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
脚付工事用足場を必要とする場合
エレベータ工事用足場として使用する場合の保全・清掃・補修・補強・保守費用
エレベータ部材工事撤去で協力が必要となる場合
既存第1エレベータ等で騒音を発生する必要がある場合
防・排気に義生を必要とする場合
エレベータ工事のための出入口部分の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合

仕様一覧

名称	No.2
用途	昇降機（エレベータ）
種類	乗客用（ヒューマンハイ）（電気式）
制御方式	インバータ制御方式（VVVF方式）
駆動方式	巻上機方式（歯車付き）
積載量	1000 kg 13 人
速度	60 m/min
電力容量	三相200 V 7 kW
照明容量	単相100 V 350 W
乗客定格	15.2 kW
仕様変更	仕様変更 [illegible] 回 [illegible] kW 仕様変更 [illegible] 回 [illegible] kW
かご寸法	1500 mm（W） 1500 mm（D） 2100 mm（H） 2250 mm
出入口寸法	1100 mm 1200 mm（W） 2100 mm（H）
扉の形式	両開き（中央開き）
扉重量	50 kg/枚シャッター
定格速度	60 m/min
乗場敷居	800 mm
安全装置	戸開時間延長装置 ●（戸・ドア）
	火災時管制運転 ●
	地震時管制運転 ●
	戸閉途中開放装置 ●
	停電時管制運転 —
	電源断時管制運転 —
ドアプロテクトセンサー	●
ドアシャッター	●
光電式安全装置ドアセンサー	●
ドアエッジセンサー	—
ドアクランセンサー	—
乗場ボタン	●
乗場ボタン	乗場ボタン形式（点灯方式） ●（ボタン点灯式）（点灯方式：白色、黄色、赤色）
乗場呼び出し	●
乗場呼び出し	●
乗場表示 10mm	●
乗場	三方枠 材質 [illegible]
	敷居 材質 [illegible]
	壁 材質 [illegible]
	建築開口部 —
	建築開口部 開口 —
	戸 材質 [illegible]
かご室	天井 材質 [illegible]
	壁 材質 [illegible]
	操作盤 材質 [illegible] 操作盤 [illegible]
	フィッシャープレート 材質 [illegible]
	天井 [illegible]
	壁 [illegible]
	敷居 [illegible]
	戸 [illegible]
	戸枠 [illegible]
	補強金具 [illegible]
操作盤	表示器 [illegible]
	押ボタン 形状 [illegible] [illegible]
	フィッシャープレート [illegible]
	手すり [illegible]
	鏡 [illegible]
	ガード [illegible]
	換気扇 —
	消火器 —
（TV カメラ）	● （4台）（前面、メンテナンス用カメラ）
特記仕様	かご内温度調節装置
	内部カメラ
	かご内手すり（バー）
	地震感知
	自動着床装置
	電力回生システム装置
	—
乗場灯	—
【1】地震予知	●
【2】インジケーター	【 [illegible] NO.31 [illegible] 】
【3】インジケーター	—
【4】＋【5】リモート	【 [illegible] No.33 [illegible] 】

※1 火事等が起きてから電源を切られるまでの間、自動運転をさせて、かごを最寄りの階まで移動させるもの。

※2 特定防火設備の場合では、自動閉鎖防火設備とするものでなければならない。

エコロジー機能

かご室内 LED照明（省エネインジケーターのバックライトもLED化）
シャッタ外観（かご内は通常どおりのシャッタの表示灯に対応）
かご室内の軽量化

訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店　一級建築士事務所
一級建築士事務所　三重県知事登録第1-605号

照査：田中　　担当：田中

代表となる設計者
大和リース株式会社　三重支店
一級建築士　大臣登録第335745号
田中　修身

一級建築士　大臣登録 第274644号
構造設計一級建築士 第7006号
畑田　啓吾

法適合確認証発行
構造関係規定に適合する事を確認した。
確認した範囲等：構造図一式、構造計算書一式

工事名称：（仮称）多世代共生型施設新築工事

図面名称：No.2 エレベータ詳細（1）

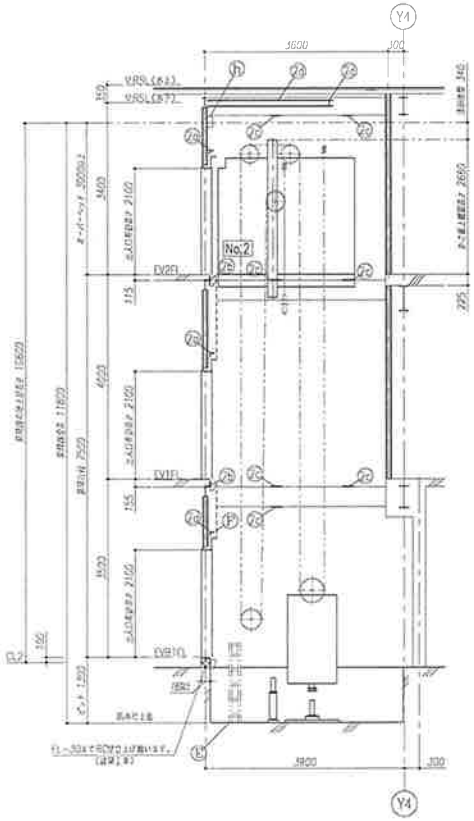
縮尺：A1:1/50　A3:1/100

作成年月日：2021・06・30

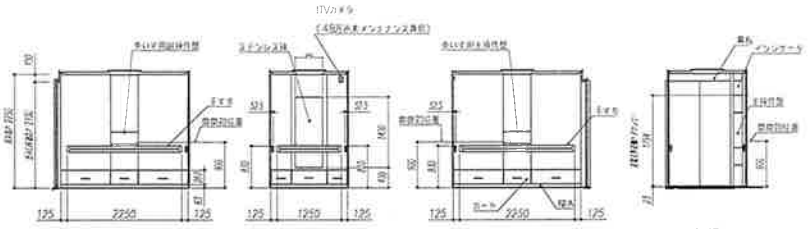
依頼番号：－

図面番号：A-155

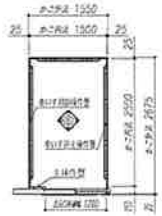
受領印　年　月　日



昇降路断面図

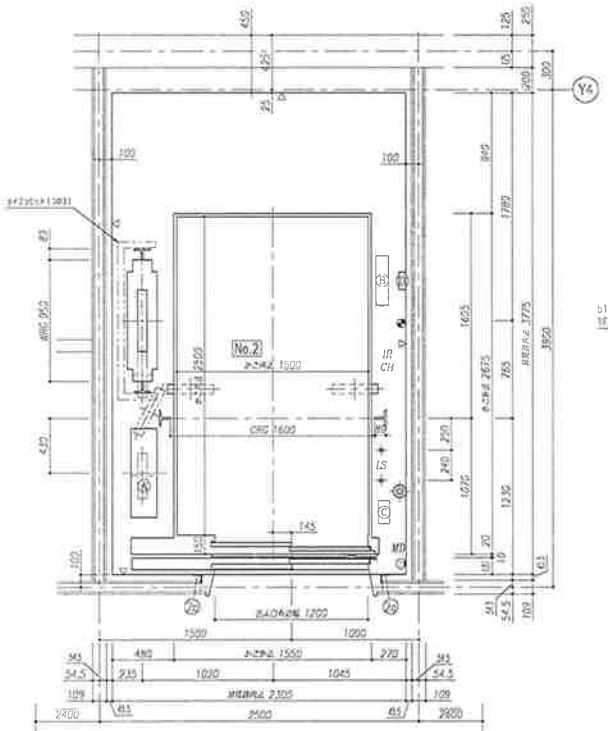


矢視 A　矢視 B　矢視 C　矢視 D



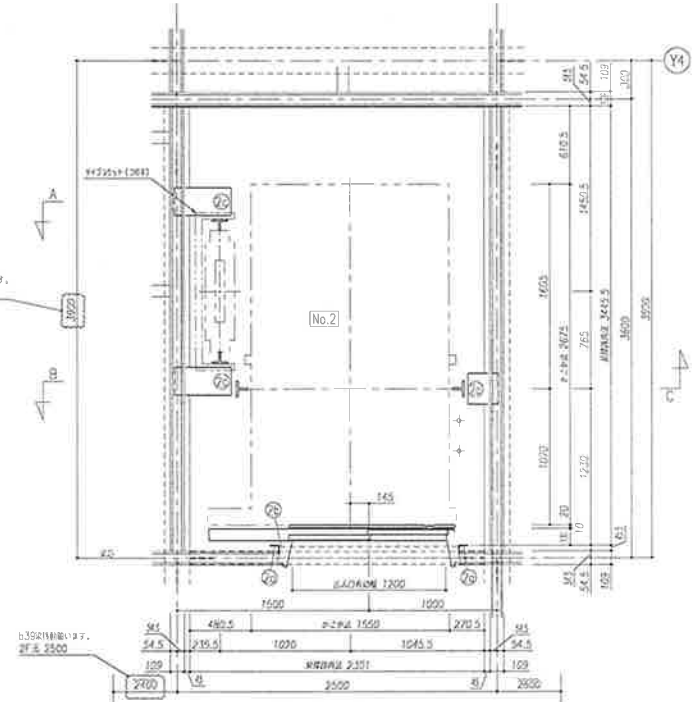
かご平面図

天井見上図



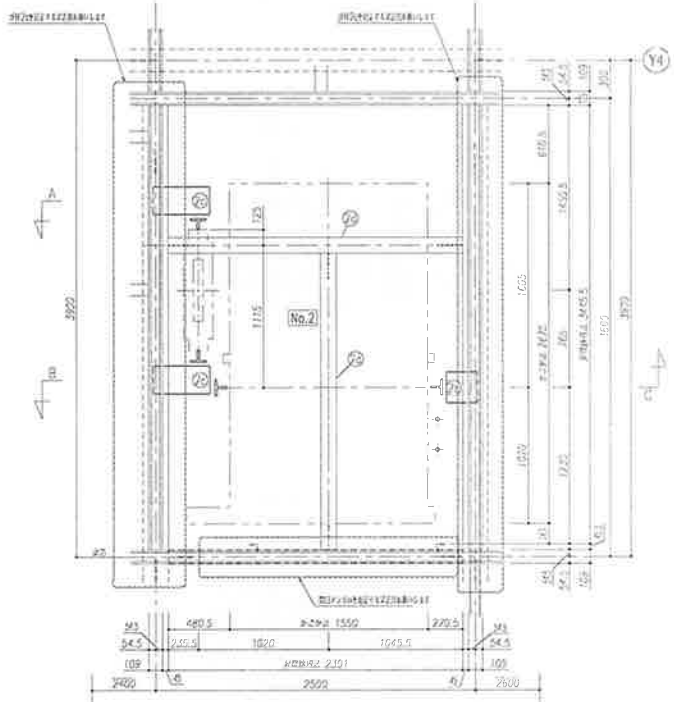
(B1F) 昇降路平面図

注：ピット内は、建築仕様仕上無います。
△：防水仕上を施工。
地中梁は FL上0mで埋戻し行う無います。



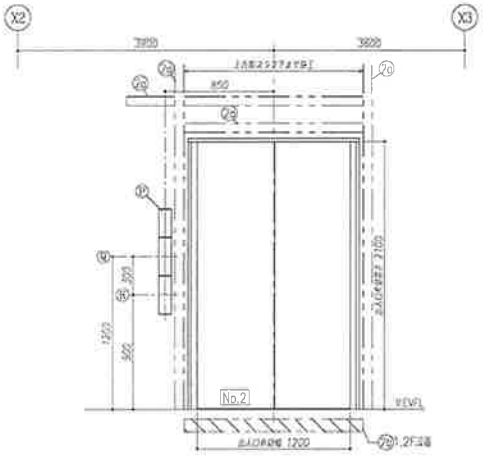
(1,2F) 昇降路平面図

注：耐火被覆無し



(頂部) 昇降路平面図

注：耐火被覆無し



出入口正面図

A	昇降路	(EV工事)
B	制御盤	
C	受電盤・ピットタップ	
D	地震感知器	

エレベータ用防振材料（建築工事）

2a	三方枠・フェッシャープレート取付用鋼材 防振装置取付出隅材	L-75×75×6
2b	敷居取付用鋼材	L-100×100×13
2c	ファスナープレート	PL-12t
2d	2D20用ちどーム	構造3ユーE

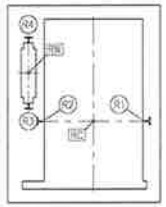
注1) 鋼材メーカーは、EVの型式や仕様により変更となる場合があります

P	インジケータ
Q	一般照明設置
R	安全照明設置

電源設備（1台当たり）【電気工事】

記号	種別	種種等		配管配線	配線記号
◎	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz			
		幹線サイズ（mm²）	5.5 8 14		
		幹線こう長（m）	34 49 86		
		電流ヒューズ（A）	40		
		接地線（mm²）	3.5	鋼管-100	3500mm
		電気設備容量（kVA）	5.0		
		制御用電源トランス容量（kVA）	0.15		
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz			
		照明用電源容量（kVA）	1.0		
◎	ピットコンセント	AC100V 10A 1個		鋼管-200	
◎	他電源連絡線	別図参照		鋼管-100	750mm

※記号説明
自然放電電流と自然放ノイズの影響を低減するため、できるだけ以下の工夫をお願いします。
1. 絶縁抵抗計を使用する場合は（インバータ対応型）とし、絶縁電流値は対規格1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の漏洩電流として設定できる。
2. 対機器と同一電源トランスを使用している機器の場合は、絶縁抵抗計は「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 対機器の動力線と対機器の電源・信号線は、千万に結束しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 対機器の電源トランスと対応機器の電源トランスを分離して下さい。
5. 対機器のアース線と対応機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。（接地線はループ禁止です。）
6. 対機器の対応機器の動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



ピット設備加重（kN）と相当点

R1	R2	R3	R4
.31	.2	.02	.25

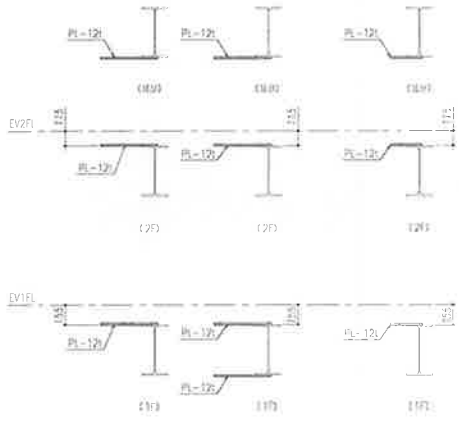
ピット設備等加重（kN）と地盤反力

RC	RW
.122	[illegible]

レールに作用する水平力（kN）

		Px	Py
Py / Px	かご	7.3	5.6
	おもり	8.7	4.5

地震時水平力による建築部材のたわみは5mm以下としてください



断面 A　断面 B　断面 C

訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店　一級建築士事務所
一級建築士事務所　三重県知事登録第1-805号

作図 田中　　検図 田中

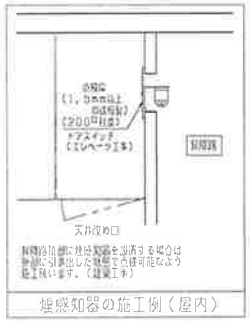
代表となる設計者
大和リース株式会社　三重支店
一級建築士　大臣登録第335745号
田中　孝幸

一級建築士　大臣登録 第274644号
構造設計一級建築士 第7008号
畑田　啓吾

法適合確認結果等
構造規定規定に適合する事を確認した。
確認した図書等：構造図一式、構造計算書一式

工事名称：（仮称）多世代共生型施設新築工事
図面名称：No.2 エレベータ詳細（2）
縮尺：A1:1/20　A3:1/40
作成年月日：2021・06・30
依頼番号：－
図面番号：A-156

受領印
年　月　日



煙感知器の施工例（屋内）

h	煙感知器	(電気工事)
E	ケーブル	(EV工事)
F	フェッシャープレート	(EV工事)

エレベータ昇降路仕様（建築工事）

3a	三方枠・フェッシャープレート取付用昇降路開口部設置取付金具材	L-75×75×6
3b	敷居取付用昇降路	L-100×100×13（ジッパ付き）
3c	ファスナープレート	PL-12t
3d	レール支持用金具	H-200×200×8×12
3e	20kN用ビーム	構造設計一級

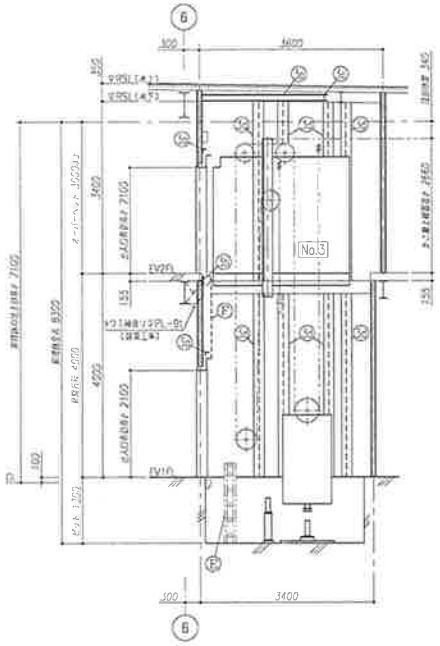
注）番号はEVの仕様や階高により変更となる場合があります

昇降路内温度の制約
「平成12年建設省告示第1413号（第1章に）」による。
下記に該当する場合は、「構造上不適切な開口部」構造設計者に構造計算を依頼する必要があります。
＊昇降路内温度が40℃を超える場合
（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
・エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

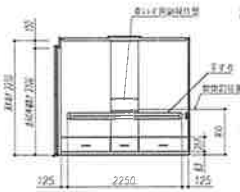
エレベータ総発熱量：582 （W）

エレベータ機器発熱量による温度上昇：（ 7℃以下 ＊許容値 ）

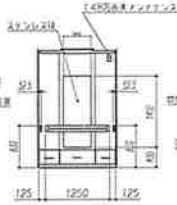
※エレベータ機器の発熱や外部昇降路からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないようご検討ください。



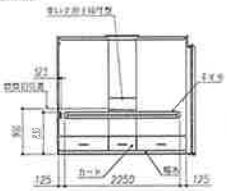
昇降路断面図



矢視 A



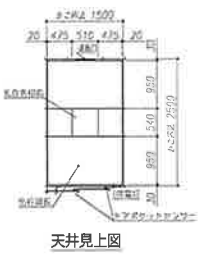
矢視 B



矢視 C

矢視 D

かご平面図



天井見上図

基本仕様

電源開放法適用	
戸開走行保護装置	
地震管制装置（警戒センサー及びかご室用）	
地震時閉止装置（感知器）	
地震機能設計・施工指針（2016年版）対応	
戸開走行保護装置（手動式戸開走行保護装置を含む）対応	
インテリア（ファスナッシュター・扉枠・敷居・フェッシャープレート）	
耐震クラス（ A3 ）	

重いす仕様

車椅子	車いす用操作ボタン
かご内部	車いす用手すり（インジケーター：高低表示）
	高低ミラー
	手すり
セーフティ機能	戸閉安全装置の設置
	戸閉走行の防止
	自動再開装置設置
	光電式安全装置・マットセンサー

NEWコールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制運転の自動復帰・復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔操作監視・遠隔安全確認対応
予約日リモート点検
閉じ込め対策仕様：救出用扉を設置（仕様が明確された場合、別途見積もりとなる）
情報モニター：コンテンツの配信に対応する（モニター本体の取付は仕様による）

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリートも施工により必要となるはつりまたは開口工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
・昇降路のコンクリート厚さは 150mm 以上。
＊昇降路の壁（梁）は、50mmの鉄筋の面に面方向の力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び破壊を生じない構造とする。
2. 各階出入口（ランプ、ポケット、開口補強）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口周囲のモルタル詰め、もしくはリックワールの詰め工事。
4. 乗場敷居金物の出入口部分の芯・床及び壁面仕上工事。
5. かご・昇降路下部の排水口とは別の乗場にあるピット内に設置工事。（排水口・水切防止対策）
6. ピット内部水切工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・所水厚は 25mm 以上。
7. 昇降路内部の最高の梁ビーム（ 20 kN ）設置工事。
8. 防弾構造の昇降路に対する防弾材の耐火処理工事及びお客様の延焼防止処理工事。
9. レール支持用（第D,ファスナープレート ）の設置工事。
10. 耐震安全装置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ定格までの動力電源・照明電源＊部に段の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピットの移用コンセント設置工事。
4. 昇降路内部の避難梯子設置工事。（昇降路内部より必要が可能なる）
5. エレベータ保守員専用電話（電話中継台から監視コンセント、設置場所はマ）の配管配線工事。

注意事項

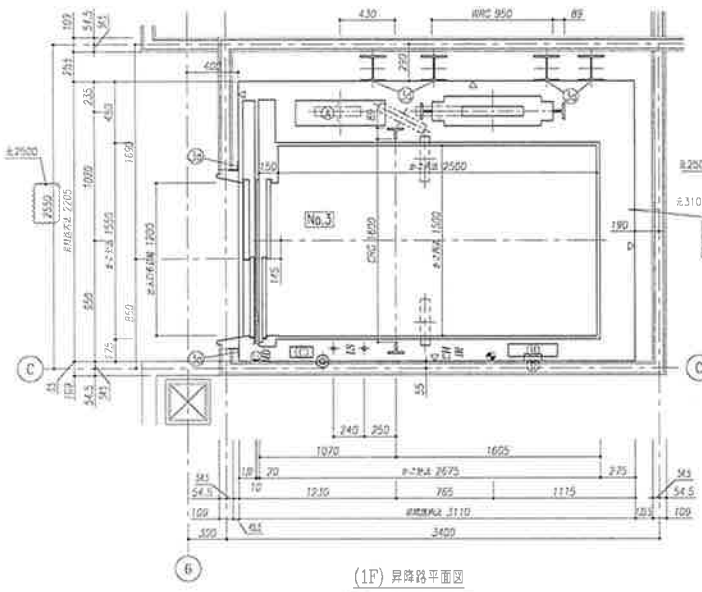
1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降路に必要な配管設備にあっては、昇降路壁に隣接スペース設けます。
また、昇降路内にはエレベータ関係の電気・水道等の配管・配線を行わないようにして下さい。
2. エレベータ電気室における電源工事の電線は十分な容量、開閉用は 12 A以内、電圧不安定は 5 %以内に収ひまう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は 40℃、湿度は月平均90％・日平均95％を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有害ガスや湿だいな煙等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は海面に直接ふられた。塩分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない通路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、はつり対応し）
7. 新行工事用仮設電源、試運転用電力、ガス、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、新行材料の仮置場所を無償貸与願います。

下記作業については、別途見積りとなります

現地調査
特殊設備・建築への搬入に対し、型枠・足場・仮設通路用足場を必要とする場合
2階以上の床もしくは地盤からの搬入作業
地下そし地盤から運搬・搬送手段はまでの距離が30mを超える場合
新行工事期間を必要とする場合
エレベータ工事用として使用する場合の機器・資材・設備・材料・仮設電源
エレベータ新行工事以外で日会いが発生する場合
新行時エレベータで昇降路を使用する必要がある場合
夜・空気に悪影響を必要とする場合
エレベータ工事までの出入口開口部の養生材及び養生材撤去工事
その他特殊な事柄がある場合

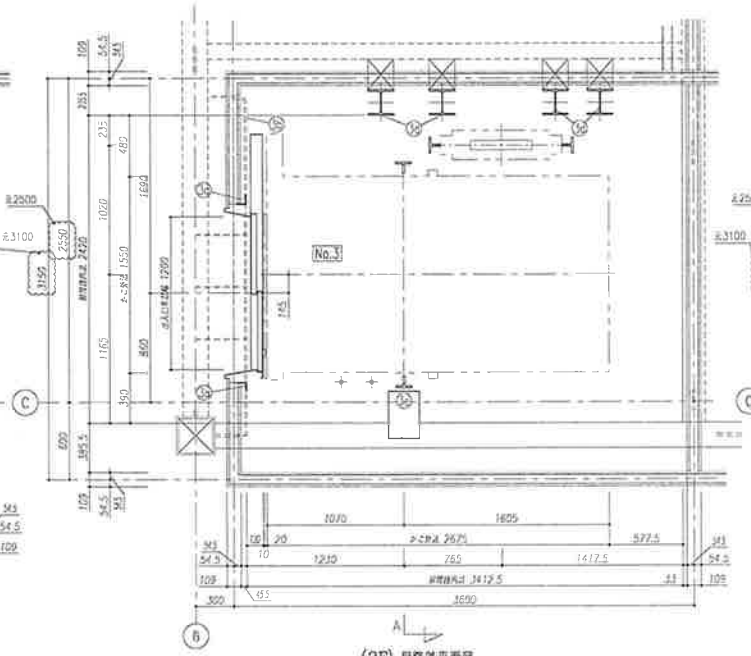
仕様一覧

仕様		No.3
型式		一般用（すれ違い可）
機種		第3種（ランプ・ルーム・ポケット） 電気式ロープ
制御方式		インバータ交流可変電圧（VVVF）方式
駆動装置名称		永久磁石同期モータ（ギヤ付）
定格		1000 kg 15 人
速度		45 m/min
動力電源		三相200 V 60 Hz
照明電源		AC 100 V 60 Hz
乗客定格間		5.6 秒
停止階数		2 階 2 階
かご内法		間口 1500 mm（奥行 2500 mm（有効 2250 mm
出入口寸法		幅 1200 mm（有効 2100 mm
戸開方式		両方向（中央開き）
扉材質		SUS 鏡面仕上
扉寸法	第1	800 mm×2100 mm
乗場敷居		敷居レス
乗場表示		●：（FP-SS1）リスタート表示機能付き
乗場呼び釦		●
乗場呼び釦照明		●
乗場呼び釦表示		●
自動再開装置		—
電子式安全装置		—
戸閉安全装置		—
かご内操作盤	カードリーダセットセンサー	●
	ドアインジケータ	●
	定格荷重表示ドアインジケータ	●
	ドアインジケータ	—
	ドアライトカーテン	—
	ドアライトカーテン	—
かご内表示	重いす仕様	●
	三方表示機能（かご内高低）	●：四方高低表示（右前・後・左前の順番）
	戸閉時ブザー付き仕様（ブザー）	●
	地震時ブザー付き仕様（ブザー）	—
	光電式ドアクリアランスランプ	●
	光電式ドアクリアランスランプ	—
	地震時ブザー	●
かご内表示	表示器	電球	文字	文字：文字表示器
			数字	数字：—
			矢印	矢印：矢印表示
		液晶表示	文字	文字：—
			数字	数字：—
			矢印	矢印：—
	釦	釦	釦：釦アルミ化
		釦表示	釦表示：ドットマトリックス表示
		釦照明	釦照明：釦表示のランプ（ランプ）（ランプ）
			釦表示：釦表示のランプ（ランプ）（ランプ）
			釦表示：釦表示のランプ（ランプ）（ランプ）
			釦照明：釦照明電気（釦照明一体型）（ギヤ付）（ギヤ付

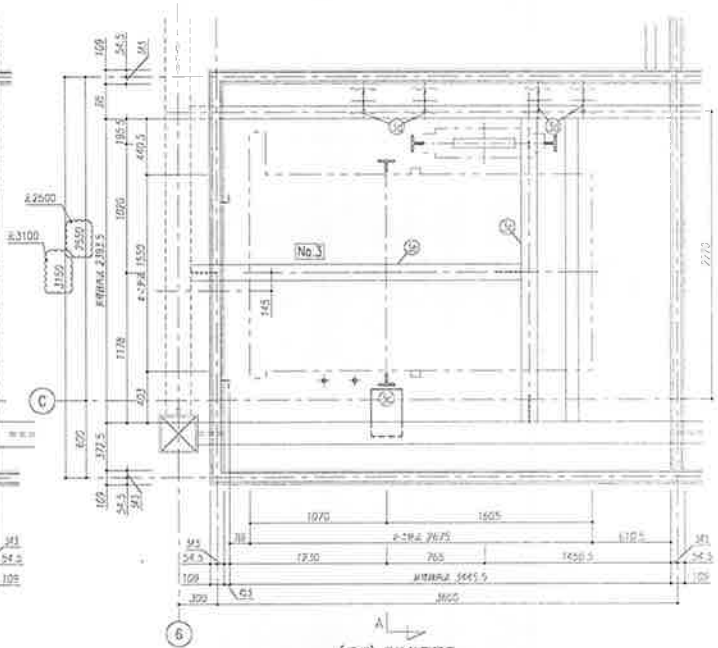


(1F) 昇降路平面図

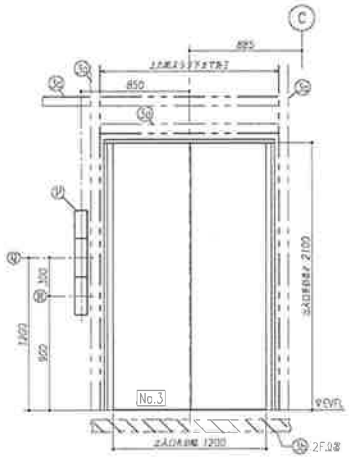
遮音ピット内は、遮音防水仕上げとします。
△：防水仕上げを示す。
地中梁はFL±0.0で隙し打ちとします。



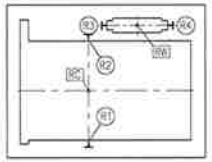
(2F) 昇降路平面図



(塔部) 昇降路平面図



出入口正面図



A	点検口	(EV工事)
B	制御盤	
C	乗場灯・ピットランプ	
D	非常呼出器	

エレベータ用設備部材（建築工事）

3a	三枚・フェッシュープレート取付用部材 前面枠取付用部材	L-75×75×6
3b	乗場敷居用部材	L-100×100×1.5（引っ掛け付き）
3c	ファスナープレート	PL-12t
3d	レール支持用部材	H-200×200×8×12
3e	200N用ビーム	構造設計一式

※1 部材メンバーは、EV内仕様の電流により変更となる場合があります

P	インジケータ
Q	一般用押釦
R	まいす用押釦

ピット部荷重（kN）：振動荷重

R1	R2	R3	R4
30	1	61	24

ピット部衝撃力（kN）：地震荷重

RC	RW
99	88

レールに作用する荷重値（kN）

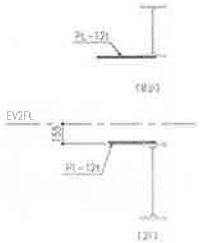
		Px	Py
Py Px	かご	7.3	5.6
	おもり	8.7	4.5

地震荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください

電流設備（1台当たり）【電気工事】

記号	種別	仕様	仕様寸法	建築部材
	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz		
		電線サイズ（mm²） 3.5 5.5 8		
		配管こう長（m） 31 43 70		
		電流遮断器（A） 40		
		電線数（mm²） 3.5	PL-100	1500mm
		電源容量（kVA） 4.0		
		制御用トランス容量（kVA） 0.15		
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz		
		照明用電源容量（kVA） 1.0		
	ピットコンセント	AC100V 10A 1箇	PL-200	
	設備電源配線	機側盤材料を確認する。	PL-100	7500mm

※注記事項
負荷設備電流値と高調波ノイズの影響を低減するため、できるだけ分離して下記対策をお願いします。
1. 設備電源線を共通する場合U（インバータ）相をとし、
設備電流値は対象線1当たり50mA（実効値）または100mA（ピーク値）の
設備電流として設定下さい。
2. 対象線と同一電源トランスを使用している機器の設置禁止。設置禁止機器は
「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 対象線の動力線と公衆電話の電流・電圧線は、平行に配線しないで下さい。
やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 対象線の電源トランスと公衆電話の電源トランスを別置して下さい。
5. 対象線のアースと公衆電話のアース線は、各々独立して配線のうえ、接続下さい。
（接続線は同一で構いません。）
6. 対象線の制御線や動力線の近傍に近くでトランスや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



断面 A

訂正事項	年月日	担当
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	
	・・	

大和リース株式会社
三重支店　一級建築士事務所
一級建築士事務所　三重県知事登録第1-805号

照査 田中　担当 田中

代表となる設計者
大和リース株式会社　三重支店
一級建築士　大臣登録第335745号
田中　孝幸

一級建築士　大臣登録　第274644号
構造設計一級建築士　第7008号
畑田　啓吾

法適合確認結果等
構造関係規定に適合する事を確認した。
確認した範囲等：構造図一式、構造計算書一式

工事名称	（仮称）多世代共生型施設新築工事		受領印
図面名称	No.3 エレベータ詳細（2）	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	年　月　日
作成年月日	2021・06・30	依頼番号 －	図面番号 A-158